

(社) 京都モデルフォレスト協会 平成 21 年度事業計画

<平成 21 年度の重点方針>

企業等が参加する森林づくりの活動が、地域住民や様々な団体と連携した取組に広がるとともに、さらに多くの企業等の参画が得られるよう、京都府や市町村と連携しながら積極的に活動を支援します。

協会への入会の呼びかけや森林体験イベントなどの普及啓発活動を一層充実し、モデルフォレスト運動の輪を広げます。

緑の募金を通じてモデルフォレスト運動への幅広い府民の参加を促進するため、関係団体や協会会員企業、団体等と協力して、募金活動の充実を図り、地域緑化、環境教育、森林ボランティア活動等への支援を充実します。

今年度京都で開催される全国大会「第 20 回緑の少年団全国大会」、「平成 21 年度自然公園ふれあい全国大会」や「森づくり地銀ネットワークと連携した取組」等を通じて京都モデルフォレスト運動を広く全国にアピールし、運動の推進を図ります。

1 企業、団体等の参加による森林づくりの推進

企業等の参加促進

協会が地域の森林と府民や企業等をつなぐパイプ役となりながら、企業等に具体的な森林活動の場所等を提示して森林づくり活動への参加を呼びかけ、地域の関係団体や地元市町村、京都府等と連携して取組をサポートするとともに、企業等からの寄付金等による森林づくり基金を設置するなどして、府内各地で京都らしい多彩な森林づくりが展開されるよう、企業等の参加を促進します。

森林づくり基金による地域の森林づくりの取組支援

企業等からの寄付金をもとに、地域の森林づくりの計画に基づき活動を行う森林づくり実行組織等に対して、森林づくり基金運営委員会で協議の上助成金を交付します。助成金は、森林整備や作業道開設、案内板等の設置のほか、環境教育事業の展開、森林ボランティア活動等の実施等に係る経費に使用するとともに、地域の森林づくりの取組を広く P R し、更に取組の輪を広げます。

2 京都モデルフォレスト運動推進のための普及啓発

森林の果たす様々な役割についての理解と森林づくり活動への参加の促進を図るため、各種の普及啓発事業を積極的に展開するとともに、府民に向けた情報発信に努めます。また、これらの事業等を通じて会員の拡大に努めます。

全国大会等を通じたモデルフォレスト運動のPR

平成21年度に京都で開催される2つの全国大会「第20回緑の少年団全国大会」、「平成21年度自然ふれあい全国大会」や「森づくり地銀ネットワークと連携した取組」等を通じて、京都モデルフォレスト運動を広く全国にアピールし、運動の推進を図ります。

<第20回緑の少年団全国大会>

- 趣 旨 次世代を担う全国緑の少年団が一堂に会し、本府の豊かな自然環境の中での交流活動や共同生活を通じて、互いに交流し相互の理解と連携を深め、自然を愛し緑を守り育てる心を育む
- 開催日 7月29日(水)～7月31日(金)
- 主 催 全国緑の少年団連盟、第20回緑の少年団全国大会実行委員会(京都府、京都モデルフォレスト協会、京都府緑の少年団連絡会ほか関係団体)
- 内 容 1日目 記念式典、交流活動開会式
2日目 交流活動(府内各地にて森林体験活動実施)
3日目 活動発表会、交流活動閉会式 全国から500名が参加予定

<平成21年度自然公園ふれあい全国大会>

- 開催場所 丹後天橋立大江山国定公園及び若狭湾国定公園
- 基本方針 自然・文化を活かした地域づくりの推定
人と自然の関わり方の提案
エコツーリズムの振興
多様な主体の交流と連携による自然環境の保全
モデルフォレスト運動に取り組む京都をアピールしながら、多様な主体の交流と連携で自然環境の保全を進めるきっかけとする。
- 内 容 9月12日(土)式典(招待者:800名)会場:宮津市
9月13日(日)エコツーリズムシンポジウム(公募)会場:京丹後市
9月12日～13日 ふれあい広場、エコツアー、自然体験イベントなど
- 主 催 平成21年度自然公園ふれあい全国大会実行委員会
(環境省、林野庁、京都府、福知山市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町
与謝野町、財団法人国立公園協会、社団法人京都モデルフォレスト協会)

<森づくり地銀ネットワークと連携した取組>

森づくり活動に参加する地方銀行のネットワーク組織「日本の森を守る地方銀行有志の会」と連携して、京都モデルフォレスト運動を全国に発信する取組を12月に実施します。

(取組内容案)

名 称	「日本の森を守る京都サミット(仮称)」
開 催 日	平成21年12月4日(金)
会 場	京都国際会議場
内 容	事例発表、講演会 等
主 催	日本の森を守る地方銀行有志の会、(社)京都モデルフォレスト協会 ほか (予定)
後 援	林野庁、環境省、京都府、京都市 ほか (予定)

森林づくり普及啓発事業

ア 森林整備体験教室等の開催

地域での取組との連携を図りながら、間伐等の森林整備体験教室等を継続的に開催します。

イ 森の健康診断の実施

府民が実際に森林に入って、森の現状を知り、森林の働きや手入れの必要性等を学んでもらうことで、具体的な森林づくり活動等につなげていくため、森の健康診断(府民参加による森の現況調査)を実施します。

ウ 森づくりを通じた子供達への環境教育、中高年の生涯学習の推進

子供達が緑化木を守り育てる「緑のカーテン」の取組や、京都SKYセンターと連携した森づくり体験活動の取組を推進し、子供達への環境教育や中高年の生涯学習の推進を図ります。

エ 森林ボランティアの活動促進

- ・ 京都府と連携して、森林ボランティアリーダー養成講座、森林ボランティア作業安全講習会等を開催し、森林ボランティアを育成します。
- ・ 森林ボランティア団体をネットワーク化し、活動の促進を図るため、京都府と連携した森林ボランティア団体等円卓会議の開催や、広報媒体により団体の情報交換、情報発信を促進します。
- ・ 学生の参加も得て取り組む「大学の森」づくりに向けて大学等との連携を進めます。

オ 森の人材バンクの活用

- ・ 森林インストラクター等の資格者等を登録する森の人材バンクを活用し、ボランティア団体や企業等の希望に応じて指導者を紹介・斡旋します。
- ・ 企業、団体等の要望に応じて、森林づくりへの理解を深めるための出前環境学習講座を実施します。

情報発信・PR事業

ア 府民参加の拡大

- ・ 広報誌、ホームページ、メールマガジン、啓発リーフレット等により独自に取組をPRするとともに、マスコミ等に情報を提供しながら、参加企業等の協力を得て取組をPRします。
- ・ 環境団体等と連携を図りながら啓発イベント等に出展するなどして、幅広く府民に情報を発信します。(環境フェスティバル・農林水産フェスティバル・エコ100選等への出展等)
- ・ 緑に親しみ森林への理解を深めていただくため、京都府と共催で「新緑祭 in 府民の森ひよし」を開催します。
- ・ 府民向けのシンポジウムを開催し、森林づくり活動への参加を促進します。
- ・ 府民が森林の恵みを実感し、森林の大切さについての理解を深めてもらうため、様々なテーマを設定して森林を巡るツアーを実施します。

イ 企業等による活動のPR、参加の拡大

- ・ 企業参加の森づくり活動の取組事例等を紹介する森づくりセミナー等を開催します。
- ・ 森林づくりへの貢献の大きい企業等の表彰や優良事例を積極的にPRします。

ウ 森林吸収量の認証

森林吸収量の認証機関として、企業等の森林ボランティア活動や森林づくりへの寄付等の取組を森林吸収量の認証等により評価しPRするとともに、認証制度を活用し、森林整備による森林吸収量で企業活動等によるCO₂排出量をオフセットするカーボンオフセットの取組を支援します。

エ 木を使う運動の展開

- ・ 木づかい運動等と連携して、木製品や燃料として木を使うことで森林を守り育てる運動を展開します。
- ・ 協会会員企業等と連携して、事業所内の内装、備品等に府内産木材を使うモデル的取組を推進します。

オ 国際モデルフォレストネットワークとの連携

- ・ 平成20年3月に加入した国際モデルフォレストネットワークを通じ、京都から世界に

情報を発信します。

- ・ 国際モデルフォレストネットワーク事務局やカナダ・ケベック州モデルフォレストの取組等と連携し、人や情報の国際交流を通じて京都モデルフォレスト運動の充実強化を図ります。

緑化関係事業

- ・ (社)国土緑化推進機構の緑と水の森林基金の運用益を活用して、木材需要拡大、森林整備等の重要性の普及啓発や森林を活用した青少年の環境教育の促進を図ります。
- ・ (社)国土緑化推進機構から委託を受け、森林ボランティア活動等の支援事業の募集事務等を行います。

3 緑の募金の推進

募金活動を通じて緑資源の大切さ、重要性等を啓発するとともに、緑豊かな森林づくりの取組への支援等を一層推進します。

緑の募金活動

- ・ 協会会員企業、団体等や市町村との連携を強化し、緑の募金活動支援団体の協力を得て募金活動を一層推進し、募金額の拡充を図ります。
- ・ 間伐材を活用した募金グッズや、緑の羽根、緑のバッジや緑の募金ポスターの購入配布、募金パンフレットの作成等により、緑の募金への協力を呼びかけます。
- ・ 京都府農林水産フェスティバル等のイベントへの出展や関係団体と連携した街頭啓発活動で、緑の募金の普及啓発に努めます。

	募金実施期間	募金目標額	20年度実績額
春期	平成21年3月1日から5月31日	16,500千円	14,963千円
秋期	平成21年9月1日から10月31日	3,500千円	3,280千円
計		20,000千円	18,243千円

緑の募金による事業

ア 森林整備事業

- ・ ボーイスカウトやガールスカウト等が行っている森林活動に対し、資材の購入等に必要経費及び府民の森ひよしを活用して行う森林整備活動や研修経費について助成します。
- ・ 府民参加で森林づくり活動を推進するため、森林ボランティア団体等による森林整備

活動を支援します。

イ 緑化推進事業

- ・ 府内の老人クラブに緑化樹の養成を委託し、老人の社会参加意識の高揚を図るとともに、地域の緑化を推進するため、養成された苗木や緑化センターより購入した桜苗木を公共施設等へ無償配布します。
- ・ 教育環境の整備と緑を愛し育てる心を育むため、府内の小・中学校に対し、植樹木の購入等に要する経費を助成します。
- ・ 平成 21 年度に京都府で開催される「緑の少年団全国大会」に向けて、緑の少年団活動を支援します。
- ・ 青少年に緑の大切さ等を伝えるため、京都府と共催で、府内の小・中・高等学校の生徒を対象に緑化運動ポスターの募集を行うとともに、優秀作品については、各地域で展示し、緑化運動ポスターを活用した緑化の普及啓発に努めます。

ウ 緑の募金交付金事業

地域の緑化推進団体等が、それぞれの地域で森林整備や植樹等を通じて緑化思想の普及啓発を図るための経費として、緑の募金の実績から緑の募金活動のために要する資材費を差し引いた金額の 75% を交付金として、また、(社)国土緑化推進機構に対し、緑の募金法施行規則第 6 条に基づき中央交付金を交付します。